

味噌川ダム完成 20 周年記念 2days race in 木祖村 2016

コミュニケ 1

1. コース侵入用 ID

2days race in 木祖村 2016 の交通規制が実施されている時間帯は、コース侵入用 ID をフロントガラス左上に張り付けている車両だけがコースに侵入できる。

セクレタリーより配布された侵入用 ID をフロントガラス左上に張り付けること。

侵入用 ID 持参を忘れた車両については 当日 2000 円の経費を払うことで 追加 ID をその場で受領できる。

チームカー No1 はふるさと館、ダム管理所に配置されている競技側審判員の指示に従い、サグワゴン後方で選手駐車場まで移動できる。移動方向は競技進行方向と同じ、一方通行とする。しかしながら、**ステージ 1b、残念レース競技中の車両の進入、2 台目以降のチームカーの進入は極力避けてほしい。**（各チーム 1 台目以外の車両駐車先が確保されていないため）

自転車で来場した選手は味噌川ダム防災資料館（木曾川源流ふれあい館）、ダム管理所に配置されている競技側審判員の指示に従い、サグワゴン後方で選手駐車場まで移動できる。

なお、ステージ 1a、個人 TT 期間中は第 3 ローテーションの後に 5 分間のインターバルを入れる。第 3 インターバル最終選手（NO3）の後ろを走るサグワゴンの後ろで侵入することができる。

すなわち、**競技車両はできる限り競技開始以前にすべての車両を駐車場に移動してほしい。**

2. 車両駐車場（資料『一般情報』の図を参照する事）

参加チーム数が多いため チーム間の公平を確保するため以下の処置をとる

- ゴール手前 4 2 0 m ~ 3 0 0 m の幅員の広い区間（補給区間の右側部分）に約 2. 4 m 間隔でピット幅を指定する。**（駐車場 No1）**1 チーム 1 ピットとしてチームカーを駐車することができる。ピット位置選択は先着順として各チームにゆだねる。
 - 各チームでピットに駐車できない車両については、駐車場 No1 が始まるあたり（ゴール手前 430m 付近）から右側にある正沢公園下の未舗装河川敷に駐車できる。（駐車場 No3）。
 - ゴールライン通過後 1 5 0 ~ 4 0 0 m のコース右側の幅員の広い区間に駐車できる（駐車場 No2）。ただし、競走中、駐車場間の車の移動はできない。駐車場 No2 は下り区間にあるため 十分安全に配慮した駐車に心掛けること。競技終了後の車両の移動はできるが、競技進行方向で車両を移動させてほしい。
 - 駐車場 No2、No3 は駐車ピットなどの規制は行わないので、自主的な安全な駐車を心がけること。日曜日午前中に開催される残念レースの競技時間中は 下り区間に当たるため 駐車場 No2 への進入を控えてほしい。駐車場 No2 について日曜日は残念レース開始前に駐車してほしい。
 - 日曜日午前中開催の残念レースは長野県インターハイ予選を兼ねて開催される。長野県インターハイ予選に参加するチーム父兄の車両が駐車するので、双方譲りあって、安全に駐車すること。
 - 競技審判車両として使わない 審判員来場用の車両は駐車場 No2、No3 に駐車すること

3. 安全管理、推奨するタイヤの太さ

木祖村さまのご協力をいただいて開催まであと 1 週間になりました。安全施設の設置、路面の補修など地元ができる限りのことをやっけていただいております。レースディレクターは選手に安全な大会運営のために以下の協力を要請します。

- 2days race in 木祖村 2016 では複数の審判車両が走行します。審判車両の通行を妨げないように選手は走行してください。クラクションを鳴らされた場合は選手はコース左側に退避してください。
- コミッセール1は個人総合成績に関係する集団の後方を走行します。従って、コミッセール1車両に追い抜かれた時点で、個人総合成績と関係がなくなったことを意味します。
ドクターカーはコミッセール1車両の後方を走行します。事故発生率が高いコミッセール1が管理する集団までをドクターカーが支援します。ドクターカーに追い抜かれた選手は、安全に競走を完走することを目的に切り替えてください。
- 通常の道路の維持管理では交換する必要がない程度ですが、除雪、大型車両の通行などで、グレーチングの一部に損傷が及んでおります。人口3000人の村が精いっぱい努力して開催してくれる競走です。選手は道路を貸してもらえることに感謝して、グレーチングの段差が心配な細いタイヤは忌避してください。具体的には23mm以上の太さのタイヤを推奨します。密集走行、下り区間に不安を感じている選手はさらに太めの25mmの太さのタイヤ採用を検討ください。

4. チーム看板、フレームプレート固定用の養生テープ

道路を占有して行う競技ですので、競技関係車両であることを表示するためにステージ1a個人タイムトライアルで追走車両にチーム名表示の用紙（青色A4 2枚）を支給する。これを車体前後に遠くからわかるように固定してください。固定する台紙の板、固定するテープは各チームで用意ください。

フレームプレート固定用の紐、接着テープ、ナイロンタグも各チームでご用意ください

5. リーダージャージ、ゼッケン

- リーダージャージは差し上げます。
- ゼッケン、フレームプレートはステージ2終了後回収します。チームマネージャーはチーム単位で返却してください。ささやかな人数で運営して、賞金を捻出している組織にご協力ください。返却がない場合、制作費用を請求します。

6. 賞品、奨学金

別紙掲載の通りとする。賞品は表彰式で渡す。周回賞は試合ごと表彰式の直後に渡す。名前を呼んで現れない場合、受け取る意思がなかったものとして、主催者で処分します。

奨学金は1, 2, 3位は表彰式で4位以下は直後に渡します。

7. コミッセールパネル

以下のコミッセールパネル、運営組織で大会を運営する。

| | |
|------------|-------------|
| 総務委員長 | 小林 秀一 |
| コミッセール1 | 炭竈 純一 |
| コミッセール2 | 奥原 進治 |
| コミッセール3 | 三沢 茂幸 |
| モトコミッセール | 伊藤 清明 |
| フィニッシュジャッジ | 岩間 光輝 藤田 将志 |
| セクレタリー | 小川 知大 |